

お客さま各位

日本航空株式会社

2021 年 1 月からの日本航空における危険物取扱について

平素より JALCARGO をご利用いただき、ありがとうございます。

2021 年 1 月 1 日発効の IATA 危険物規則書第 62 版(DGR)において一部規則が変更されます。この案内では、お客さまからのお問い合わせが多いと考えられるリチウム電池に係る変更点を中心に、弊社での危険物取扱において変更となる点について下記のとおりお知らせいたします。

今後とも安全な航空危険物輸送に向けてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記**1. リチウム電池に係る規則の変更について****①Section II のリチウム電池の航空運送状 (AWB) への記述**

Section II のリチウム電池については、DGR61 版まで一つの包装基準ごとに一つの記述を AWB に対して為すように求められていましたが、DGR62 版より AWB が複数の包装基準を対象とする場合、複数の包装基準を一つの記述にまとめても良いことになりました。

【AWB 記載例】

- a) Lithium ion batteries in compliance with Section II of PI966 and PI967
- b) Lithium ion and lithium metal batteries in compliance with Section II of PI965 and PI968, Cargo Aircraft Only

※弊社旅客便では Cargo Aircraft Only (CAO) 危険物の輸送はできません。

②リチウム電池マークの最小サイズ及び形状

リチウム電池マークは従来長方形のみ認められていたところ、正方形も認められることとなりました。又、最小サイズを、DGR61 版では縦 110mm、横 120mm としていたところ、縦 100mm、横 100mm に変更しました。更に、包装物が小さい場合のリチウム電池マークの最小寸法を、DGR61 版では縦 74mm、横 105mm としていたところ、縦 70mm、横 100mm に変更しました。



備考: DGR61 版に示されている縦 110mm、横 120mm を最小寸法とするリチウム電池マークは継続して使用しても良い。

③ 荷主によるリチウム電池マークの ULD への貼付要件の撤廃

機器同梱 (包装基準 966,969)、及び機器組み込み (包装基準 967,970)の Section II のリチウム電池については、DGR9.1.4.1 で荷主によるコンテナ・パレット等の ULD への積み付けが認められています。弊社便でこのような形で輸送する場合、弊社は荷主に対して ULD の外側にリチウム電池マークを再表示するように求めていましたが、2021 年 1 月 1 日からリチウム電池マークの再表示を求めないことといたします。なお、この規定は IATA 規定ではなく、JAL が独自の規則として定めていたものを撤廃するものです。

2. 危険物申告書を必要とする危険物の AWB へ記入する文言の変更

危険物申告書を必要とする危険物と一緒に輸送される航空運送状 (AWB) の取り扱い情報欄に記入すべき文言が、“Dangerous Goods as per attached Shipper's Declaration” 又は “Dangerous Goods as per attached DGD” から、“Dangerous Goods as per associated Shipper's Declaration” 又は “Dangerous Goods as per associated DGD” に変更されました。(下線部分が変更箇所)

| | | | | | | | |
|---|--------------|-----------------------|-------------------------------------|---------------------|---------------|---|--|
| Airport of Destination | | Requested Flight/Date | | Amount of Insurance | | INSURANCE - If carrier offers insurance, and such insurance is requested in accordance with the conditions thereof, indicate amount to be insured in figures in box marked "Amount of Insurance". | |
| Handling Information | | | | | | | |
| Dangerous Goods as per associated Shipper's Declaration | | | | | | | SCI |
| No. of Pieces RCP | Gross Weight | kg lb | Rate Class Commodity Item No. | Chargeable Weight | Rate / Charge | Total | Nature and Quantity of Goods (incl. Dimensions or Volume) |
| | | | | | | | Chemicals |

なお、DGR61 版に記されている “Dangerous Goods as per attached Shipper's Declaration” 又は “Dangerous Goods as per attached DGD” の文言は 2022 年 12 月 31 日まで使用できます。

3. 非危険物の冷却材として使用される Dry ice の危険物申告書を用いての申告

非危険物の冷却材として Dry ice を使用する場合、従来は AWB による申告しか認められていなかったところ、DGR62 版から危険物申告書を用いての申告も可能となりました。ただ、1 件の AWB で AWB 申告・危険物申告書による申告が混在すると、内訳がわかりにくくなりますので、可能な限り一つの申告方法にまとめていただきますようお願いいたします。

| NATURE AND QUANTITY OF DANGEROUS GOODS | | | | | | | |
|--|----------------------|--|---------------|------------------------------|---------------|---------------|--|
| Dangerous Goods Identification | | | | Quantity and type of packing | Packing Inst. | Authorization | |
| UN or ID No. | Proper Shipping Name | Class or Division (Subsidiary hazard) | Packing Group | | | | |
| UN1845 | Dry ice | 9 | | 3 Fibreboard boxes x 5kg | | | |

4. その他

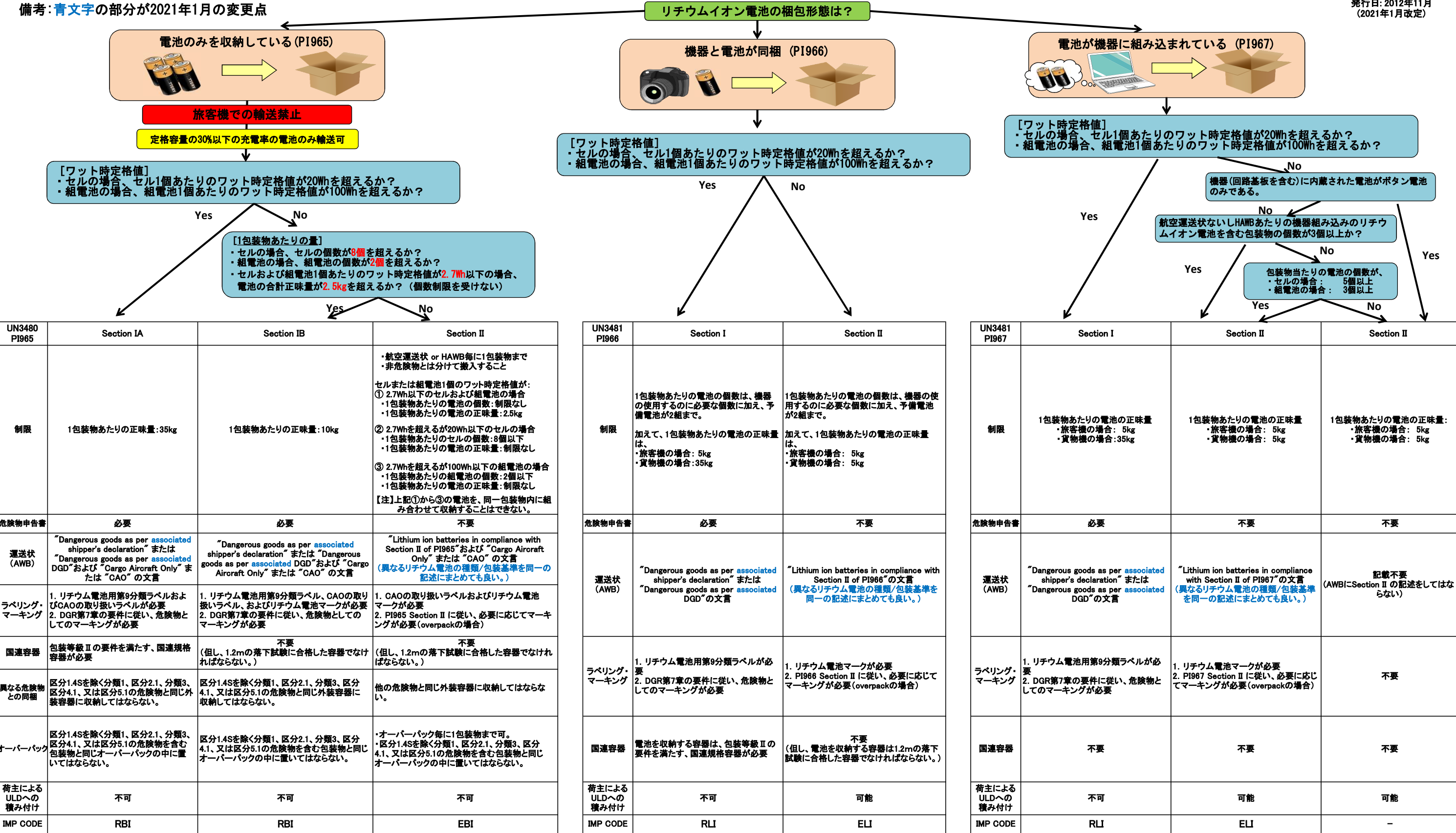
前述の変更点 1 を反映して、「リチウム電池の取り扱い一覧表」を改定いたしましたので、ご参照願います。

[別添]

添付-1: リチウムイオンまたはリチウムポリマーのセルおよび組電池の取り扱い一覧表 (UN3480, UN3481)

添付-2: リチウム金属またはリチウム合金のセルおよび組電池の取り扱い一覧表 (UN3090, UN3091)

備考: 青文字の部分が2021年1月の変更点

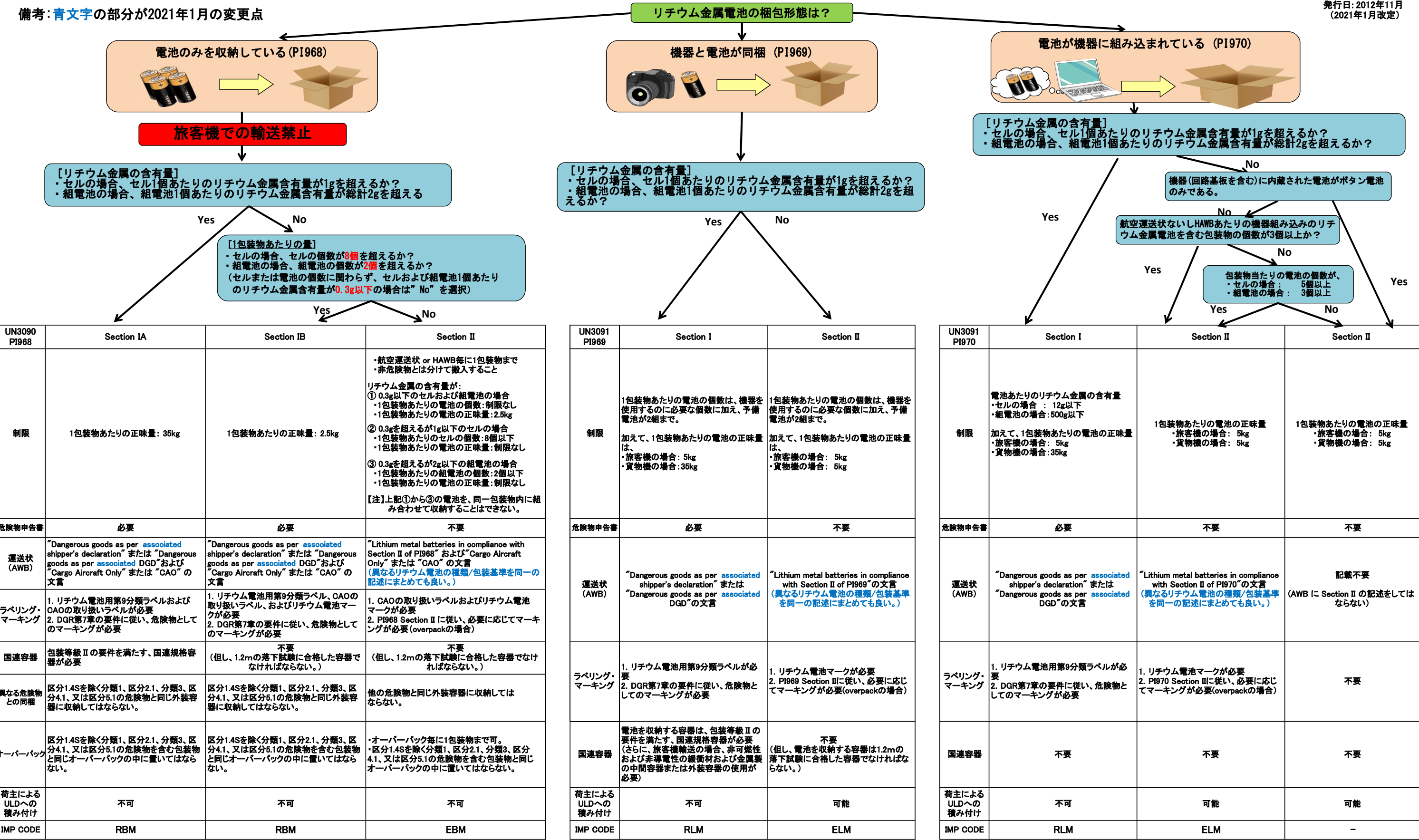


【備考1】携帯用充電器 (Powerbank、モバイルバッテリー) や Smart Luggage (リチウム電池を内蔵・装着した手荷物) については、電池単体としての性質を強く持つことから包装基準965が適用される。

【備考2】リチウム電池用第9分類ラベル、CAOラベル、リチウム電池マークを2面にまたがって貼付してはならない。
【備考3】リチウム電池の製造業者とそれに続く配送業者は、2003年7月1日以降に製造されたリチウム電池について、試験方法及び判定基準の国連マニュアルのパートIII、サブセクション38.3、段落38.3.5に定められた試験の要点を参照出来るようにしなければならない。

リチウム金属またはリチウム合金のセル及び組電池の取り扱い一覧表 (UN3090, UN3091)

備考: 青文字の部分が2021年1月の変更点



【備考1】リチウム電池用第9分類ラベル、CAOラベル、リチウム電池マークを2面にまたがって貼付してはならない。
【備考2】リチウム電池の製造業者とそれに続く配送業者は、2003年7月1日以降に製造されたリチウム電池について、試験方法及び判定基準の国連マニュアルのパートIII、サブセクション38.3、段落38.3.5に定められた試験の要点を参照出来るようにしなければならない。